

議会だより

第64号

令和2年1月31日発行

特集

P.2

第10回議会報告会

主な内容

- 議会報告会の結果…………… P2～3
- 議長就任挨拶…………… P4
- 委員会構成…………… P5
- 第89回定例会の結果…………… P6～10
- 一般質問…………… P11～17
- 第87回臨時会の結果…………… P18
- 1年間の調査報告…………… P19

灘黒岩水仙郷

南あわじ市議会
ホームページ



スマホで議会だよりを
ご覧いただけます。



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>



11月11日 広田地区公民館



11月1日 榎列公民館

問 イノシシ等の鳥獣被害がひどい。今年度は、倍近く捕獲しているが減ってない。全体の生息数についても把握できていない。柵等の対策をしているが、市全体に生息地が広がり、市も対応をしているがうまくいっていない。



鳥獣被害

答 補助金の効果が薄いという議論もある。補助金を出した意味、目的に対して、結果どうだったかという検証をしていく必要がある。

吉備国際大学生に補助金

問 南あわじ市に住所変更した吉備国際大学生に30万円の入学祝い金を出しているが。



公園を作って欲しい

問 子ども議会で、公園を作ってほしいとの話が出ていた。

答 イングランドの丘を市民は完全無料化、学校の遊具整備、ショッピングセンターに遊具設置をし、執行部も徐々に対応している。

問 長田川の氾濫に関する改修工事の課題。のり面工事は着工しているが、内水対策、サイフォンについて今後どうなっていくのか？

答 以前から県・市に要望をしているが、動きがないため再度確認し要望もしていく。

長田川の氾濫

問 グリーンベルトが消えかけており、安全確保のためにも改修してほしい。担当課に要望する。



▲榎列地区クランク部

地域の安全

問 榎列小学校への通学路となっている県道及び市道は幅員が狭く、交差点がクランクになっているうえに、大型ダンプ等の通行量が多く、非常に危険でもあるので早急に道路及び交差点を改良し、地域の安全を確保していただきたい。

答 過去から取り上げられている問題であるが、財政面で用地の問題もあり今後地元と一緒に取り上げていきたい。

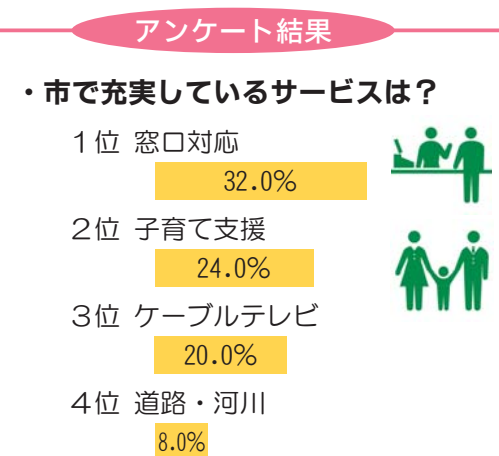
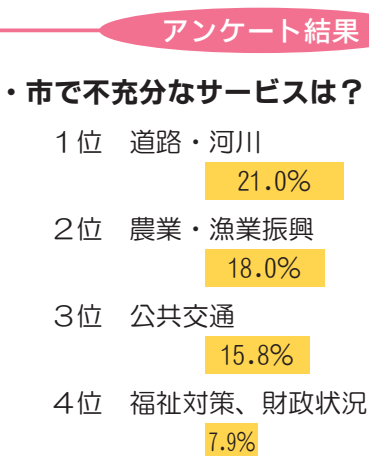
問 子ども達が、希望の持てるような提案、明るい材料は。

明るい希望の持てるまちに

答 南あわじ市は、地域のコミュニティ、新鮮な食材、温暖な気候など魅力がたくさんある。市や議会も様々な議論をし、特に子育てをしやすいまち、教育水準の向上に力を入れている。高齢者や若い世代についても、対策をしているが課題があるため、今後改善できるように危機感を持って取り組みたい。

遊休地

問 旧緑町時代に買収した広田の山林・畑が未利用になっている。



子育て支援

問 議会でも子育て支援、貧困についての質問が多い中、排除や漏れののないようにしてほしい。

答 子育て支援・貧困対策については、国の法律制定があったのでこれから。待機児童の解消については、市認定子ども園ができることによってしっかりと取り組んでいく。教育の方も、南あわじ市では非常に力を入れている。

新しい委員会の構成

◎=委員長、○=副委員長。名前は写真左上から掲載。

総務文教常任委員会



委員長 土井 巧 副委員長 廣内孝次 蛭子智彦 小島 一
北村利夫 ◎久米啓右 ○太田康文 中村三千雄

【所管事務】

総務企画部、危機管理部、教育委員会、会計課、選挙管理委員会、監査委員の所管に関する事項及び他の常任委員会の所管に属さない事項

産業厚生常任委員会



委員長 木場 徹 副委員長 北条志津子 印部久信 谷口博文 原口育大
阿部計一 ◎吉田良子 ○長船吉博 登里伸一

【所管事務】

市民福祉部、産業建設部、農業委員会の所管に関する事項

議会広報広聴常任委員会



委員長 小島 一 副委員長 久米啓右 太田康文
吉田良子 ◎北条志津子 ○登里伸一

【所管事務】

広報活動、広聴活動、議会広報誌、議会報告会に関する事項

議会運営委員会



委員長 小島 一 副委員長 蛭子智彦 太田康文
木場 徹 ◎谷口博文 ○土井 巧

【所管事務】

議会の運営、議会の会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項

市議会の新体制が決定

議長就任挨拶

課題に向き合い、開かれた議会を目指して



熊田 司 議長

第88回臨時会
11月21日～11月22日

寒さも一段と厳しい時期を迎えておりますが、市民の皆様にはお健やかに過ごしていただき、ことお慶び申し上げます。昨年11月の役員改選において、議長に就任させていただき、市民の皆様には身近に感じていただける議会を目指して、全力で取り組んでまいりますのでどうかよろしくお

願いいたします。本年南あわじ市は、市制施行15周年を迎えました。当初より市民の皆様には、議会に対し格別のご理解ご支援を賜わり、深く感謝申し上げます。近年マスコミ等では、地方自治体における議会の役割について、いろいろな意見が出されており、「議会が持つ議決機能、

監視機能、政策提案機能が十分発揮できているのか」と指摘する声もあります。当議会では平成24年に市民の信頼に応えるために、議会の役割と私たちが目指す議会の姿を定めました。本年はその目的が達成されているかの検証を進め、議会改革の推進に取り組みとともに、議会機能の充実を図っていくよう努力してまいります。このような取り組みの中で、市民の皆様により身近に感じていただける開かれた議会になると考えております。



小島 一 副議長

さて昨年12月には、「第32回近畿市町村広報紙コンクール」において当議会の「議会だより」が奨励賞を受賞しました。議会報告会・ネット配信と共に広報紙を通じて議会の活動を発信してまいりますので、これからもご愛読をお願い申し上げます。市民皆様の議会に対するさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

議決結果一覧

議長は表決に加わらない。
(○は賛成、×は反対、※は退席、除は除斥)

提出者	議案名	議決結果	各議員の賛否															
			中村三千雄	阿部計一	登里伸一	北村利夫	印部久信	長船吉博	吉田良子	廣内孝次	木場徹	小島一	久米啓右	北条志津子	谷口博文	土井巧	原口育大	蛭子智彦
市長	監査委員の選任(原口育大議員)	不同意	○	×	○	×	×	×	×	※	○	○	○	×	×	除	×	○
市長	南あわじ市・洲本市小中学校組合議会議員の選任(太田康文議員)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除

議案審査で
こんな議論をしました

第89回
定例会
12月3日
～12月23日

令和元年度 一般会計補正予算(第4号)

鳥獣被害防止総合対策事業補助金の追加など

■議案内容
歳入歳出に、それぞれ8億508万5千円を追加。

■主な質疑

▼鳥獣被害防止総合対策事業補助金
333万円の追加

問 捕獲頭数が増えた場合の処理方法は。

答 吉備国際大学でのジビエ研究の取り組みを進めている。今後はその他の処理施設についても検討していきたい。

問 捕獲してから処理するまでの体制を整備する必要があるのでは。

答 専門家を交え捕獲や運

搬方法等処理する仕組みについて検討予定。

問 ペットフードや肥料化等、多面的な活用方法もあるのでは。

答 他の自治体の事例や関係法令等を確認しながら、兵庫県や淡路島3市とも協議したい。

▼ひょうご多子世帯保育料軽減事業補助金
199万7千円の追加

問 子どもが1人であっても受給できるのか。

答 所得制限があるが、保育の必要性がある3歳未満の子どもであれば対象。対象者は何名か。

答 45名、そのうち第1子

ふるさと南あわじ応援寄付金条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

令和元年6月からふるさと納税制度が改正されたことに伴い、ふるさと応援寄付金を充当して実施する事業の見直し、規定の明確化等を行うことにより、寄付金の一層の有効活用を図る。

■主な質疑

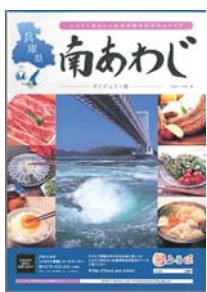
問 寄付金の使途に「学ぶ楽しさ日本一」が追加されたが、学ぶ楽しさとは。

答 分からなかったことが分かるようになる、出来なかったことが出来るようになることと考えている。

問 「学ぶ楽しさ日本一」への寄付金の具体的な活用方法は。

■議決結果

賛成多数で原案可決



▲ふるさと南あわじ応援寄付金特産品カタログ

損害賠償の決定及び和解

■議案内容

給食配達トラックのパワーゲートの閉め忘れにより、相手方の車両に損傷を与えたもので、車両の補償を行うもの。

■主な質疑

問 作業手順や交通安全に対する指導が不足していたのではないか。

大鳴門橋記念館改修工事費9500万円の減額

■減額理由は。

答 駐車場を拡張する予定であるが、埋蔵文化財調査が必要であると判明したため、工事の着工を来年度にするもの。

問 駐車場の拡張は何台分で、工事の完了時期はいつ頃か。

答 約70台。完成は来年度の1月から2月頃の予定。



▲大鳴門橋記念館

大鳴門橋周辺環境整備基本構想策定業務委託2600万円の追加

業務の内容は、大鳴みさき荘の建替、大鳴

問 マニュアルに沿って指導しているが、再度徹底するように努めたい。

■議決結果

賛成多数で原案可決

公の施設の指定管理者の指定(神道公会堂)

■議案内容

従前の指定管理者が、合併統合されたことにより新たに、神道自治会を指定管理者として指定する。

■主な質疑

問 指定管理者を自治会とした経緯は。

答 従前の指定管理者が合併統合されたので、実際の利用状況から自治会を指定。施設修繕等は自治会で負担するのは難しいのでは。

答 地域コミュニティの場となる集会施設をどのように維持していくかは大きな課題であり、今後検討して

は22名。

門橋の自転車道整備に向けての調査業務等を予定している。

問 今後の自転車道整備の協議は。

答 兵庫県、淡路島3市、徳島県や鳴門市等も含めて協議をしていく体制づくりが必要である。



▲自転車で淡路島を一周する「アワイチ」

離島航路補助金5200万円の追加

問 沼島汽船の今年度の乗船者数と近年の推移は。

答 今年度は約13万人、推移は横ばいであるが、島民については減少傾向。

問 今後の乗船者数見込みは。

答 急変することは考えにくい。周遊バスで灘・沼島周辺に観光事業を展開して、乗船者数を増やせると考え

いきたい。

■議決結果

賛成多数で原案可決

公の施設の指定管理者の指定(バイオマス利活用施設)

■議案内容

バイオマス利活用施設(神代センター、北阿万センター)の指定管理者に、バイオマス利活用施設管理組合を指定。指定期間は、令和2年4月1日から令和4年3月31日まで。

■主な質疑

問 指定期間を2年とした理由は。

答 基本的には指定管理料を払わず、処理費を財源とする自立した運営を目指しているため。

問 産業廃棄物収集運搬業の許可は取れないのか。

答 指定管理者は玉ねぎの破碎、脱水を行うが、収集

ている。

■議決結果
賛成多数で原案可決



▲沼島汽船

市行政組織条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

ケーブルテレビ事業の民間化、農業共済事務の1県1組合化及び特定の事業の営繕事務を行う等に伴い、総務企画部及び産業建設部の所掌事務を改めるもの。

■主な質疑

問 産業建設部に営繕事務を追加した目的は。

答 専門的な見識を有する職員を配置し、営繕に関する

は行わない。自らが破碎、脱水したものを運搬することに對して許可は必要ない。

■議決結果

賛成多数で原案可決



▲バイオマス利活用施設(北阿万センター)

市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

■議案内容

人事院勧告に準拠し、期末勤勉手当を引き上げようとする特別職及び一般職と同様、議員についても期末手当の引き上げを行うため、所要の改正を行う。年間0・05月引き上げる。

■議決結果

賛成多数で原案可決

令和元年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

■議案内容
歳入歳出に、それぞれ4億8647万6千円を追加

■主な質疑
問 高額医療費が増額になっているが、主な病名は。
答 入院は、心筋梗塞や動脈硬化、心臓弁膜症など。外来は、糖尿病関連の疾患、C型肝炎などが中心。

■議決結果
賛成多数で原案可決



市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定

■議案内容
災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正。

■主な質疑
問 市災害弔慰金等支給審査委員会の委員は何人か。
答 医師、弁護士、社会福祉士、民生委員等の4名ないし5名を予定。専門的な見地から自然災害との因果関係を審査。

■委員間討議
近年、災害が頻繁に発生しており、この制度は非常に大切なものでしっかりとやってもらいたい。

市農業共済条例を廃止する条例制定

■議案内容
市が行っている農業共済事業を、新たに設立される兵庫県農業共済組合に引き継ぐため条例を廃止。

■主な質疑
問 令和2年4月1日新組合となるが、市はどのように関わっていくのか。
答 市内に事務所を新設し、現在と同じ5名の職員を派遣予定。また、建物農機具



▲兵庫県農業共済組合南あわじ市事務所(建設中)

■議決結果
賛成多数で原案可決
共済推進協議会も市長が引き続き会長として就任し、産業建設部長等の職員も役員として加わることで進められており、今までと同じような形で運営に関わっていく。

人事案件

■人権擁護委員候補者の推薦

適任 芝 壽郎 林 正幸
任期 令和2年4月1日～令和5年3月31日

※令和2年度予算は予算審査特別委員会を設置し審査を行います。審査の日程については、予算審査特別委員会設置後、3月9日(月)・11日(水)・12日(木)・13日(金)で調整を行う予定です。

2月の委員会等日程

Table with 4 columns: 委員会, 日時, 場所, 内容. Lists dates and activities for various committees in February.

バイオマス利活用施設条例の一部を改正する条例制定

■議案内容
バイオマス利活用施設の炭化設備撤去に伴い、八木センター、倭文センター、賀集センターを廃止するため改正。

■主な質疑

問 施設が不必要になった場合、建物を撤去した上で、地権者に土地を返還と考えるが、どうか。
答 賀集センターは、来年度に炭化設備を撤去する。更地にして返還するのが原則だが、地元からの要望もあるため、地権者、地元、市で協議をする予定。

■主な質疑
問 不必要な施設に対して市が賃貸借料を払い続けることについてどう考えていく。
答 不必要な施設に対して市が賃貸借料を払い続けることについてどう考えていく。



▲バイオマス利活用施設(倭文センター)

■主な質疑
問 市に不利益とならないよう協議することは当然であり、不必要な賃貸借料を市が払い続けることはない。
答 倭文センターを、予備倉庫として利用するのであれば、バイオマス施設の一部であるので、条例に残すべきで条例から削除すると賃貸借料を支払う根拠がなくなると思われるがどうか。
答 条例改正はあくまでもバイオマス利活用施設としての機能がなくなったことによる改正である。バイオマス施設という位置づけを

■討論
反対 原口 育大 議員
討論要旨
倭文センターは、バイオマス関係の器具庫として引き続き使用し、借地料も支払う。この施設を条例から

第90回 南あわじ市議会定例会日程(3月)

Table with 3 columns: 会議日, 会議内容(予定). Lists the agenda for the 90th Naniwa City Council Regular Meeting in March.

■議決結果
賛成多数で原案可決
削除すれば、当該土地に対する借地料支払の根拠が曖昧になるため、条例に残して置くべきである。



市政を問う ～より良い南あわじへ～

スマートフォン等で各議員のQRコードを読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。

議員名	質問内容	ページ	議員名	質問内容	ページ
蛭子 智彦	●仕事の確保 ●慶野松原の振興策 ●(総合窓口のサテライト化)	11	北村 利夫	●自然災害 ●在宅被災者対策	15
原口 育大	●人形浄瑠璃、文化芸能の振興 ●バイオマス ●(市長と市民の懇談会)	12	印部 久信	●有害鳥獣対策	15
吉田 良子	●高齢者支援 ●子育て支援 ●ゴミの減量化	12	北条志津子	●公共施設の整備 ●防災 ●有害鳥獣対策	16
谷口 博文	●高齢者等元気活躍推進事業 ●学ぶ楽しさ ●慶野松原の整備	13	久米 啓右	●地域と市長との対話 ●人・農地プランの実質化	16
土井 巧	●学校教育の充実 ●防災対策 ●福祉の充実	13	登里 伸一	●開発目標の推進 ●教育の振興	17
木場 徹	●子育て支援 ●排水対策 ●水産振興 ●(社会基盤整備プログラム)	14	廣内 孝次	●ボランティア精神 ●近畿高校駅伝 ●(設計監理)	17
太田 康文	●魅力増進 ●農業、観光振興	14			

()書きの質問については、掲載していませんが、録画映像ではご覧いただけます。

議決結果一覧

■全議員賛成の議案

提出者	議案名	議決結果	提出者	議案名	議決結果
市長	一般会計補正予算(第4号)	原案可決	市長	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	市長	非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	市長	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	令和元年度補正予算	原案可決	市長	ふるさと南あわじ応援寄附金条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	市長	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	市長	農業共済条例を廃止する条例制定	原案可決
市長	ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	市長	兵庫県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更	原案可決
市長	下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	市長	公の施設の指定管理者の指定(神道公会堂)	原案可決
市長	農業共済事業会計補正予算(第1号)	原案可決	市長	公の施設の指定管理者の指定(バイオマス利活用施設)	原案可決
市長	広田財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決	市長	権利の放棄	原案可決
市長	福良財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決	市長	農業共済条例の廃止に伴う財産処分	原案可決
市長	北阿万財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決	市長	字の区域の変更(松帆慶野、津井地区)	原案可決
市長	沼島財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決	市長	損害賠償額の決定及び和解	原案可決
市長	行政組織条例の一部を改正する条例制定	原案可決	市長	損害賠償額の決定及び和解	原案可決
市長	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決	市長	人権擁護委員候補者の推薦	適任
市長	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決	市長	人権擁護委員候補者の推薦	適任
市長	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決			

議長は表決に加わらない。
(○は賛成、×は反対、除は除斥)
※監査委員の選任は同数のため、議長裁決。

■賛否の分かれた議案

提出者	議案名	議決結果	各議員の賛否																	
			中村三千雄	阿部計一	登里伸一	北村利夫	印部久信	長船吉博	吉田良子	廣内孝次	木場徹	小島啓一	久米啓右	北条志津子	谷口博文	土井巧	原口育大	蛭子智彦	太田康文	熊田司
市長	バイオマス利活用施設条例の一部を改正する条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	監査委員の選任(中村三千雄議員)	同意	除	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	
議会運営委員会	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	

高齢者、障がい者の働く場所の確保を

日本共産党南あわじ市議員 蛭子 智彦 議員

高年齢の方には有償ボランティアよりも、もつとお金が欲しいと思っておられると考える。どうか。

答 シルバーに登録しても、声がかからない。思いやりポイントからシルバーに移行する方もいる。高齢者の就労意欲、希望が多いと思う。

問 高齢者の働き場の確保をもつと進めるべきでないか。

答 高齢者の仕事が減ってきているというところでないか。

答 仕事が減ってきているというところではない。65歳までは現役で仕事を続けておられるという認識。

働く場所の確保を

問 シルバーに登録しても、声がかからない。思いやりポイントからシルバーに移行する方もいる。高齢者の就労意欲、希望が多いと思う。

答 シルバーに登録しても、声がかからない。思いやりポイントからシルバーに移行する方もいる。高齢者の就労意欲、希望が多いと思う。

問 シルバー人材センターの活動の意義は大きい。有償ボランティアと仕事を取得合わないよう取り組んでいただきたい。

答 シルバー人材センターと連携して進めたい。

問 障がい者の就労支援事業もきびしい。視覚障がい者マッサージ業も苦し

答 障がい者の就労支援事業もきびしい。視覚障がい者マッサージ業も苦し

ピーチクリナーの更新を

問 慶野松原のピーチクリナーが古くなり、故障しやすい。診断をして購入か修繕を検討する。

答 診断をして購入か修繕を検討する。

ピーチクリナーの更新を

問 慶野松原のピーチクリナーが古くなり、故障しやすい。診断をして購入か修繕を検討する。

答 診断をして購入か修繕を検討する。




▲南あわじ市シルバー人材センター

ゆづるはクラブ
原口 育大 議員



人形浄瑠璃振興条例は

議会提案を

問 大阪府能勢町が2006年に、「浄瑠璃の里文化振興条例」を制定している。理念条例なので拘束力はないが、市としてしっかりと取り組んでいることを対外的にアピールできるし、首長が交代しても、条例があれば後戻りさせないという意味がある。「人形浄瑠璃振興条例」は市長から提案いただきたい。
答 私自身も人形浄瑠璃には思い入れもあるし、大事にしたい気持ちもある。市民が人形浄瑠璃を一生懸命支えようという気持ちを条例という形にしていこう



▲北海道平取町120年記念式典にて公演（令和元年10月27日）

在の2市で活用ができるようなことを考えるべきだ。

答 基本的には施設を統合してというところが、どこでどういう形かという方向性から検討を進めたい。

バイオマス資源の処理と活用について

問 ごみ焼却施設の改修計画があるが、野菜残渣とか下水汚泥の水分を飛ばすのに、排熱を利用すべきた。統合して1カ所にするよりは、現

日本共産党南あわじ市議団
吉田 良子 議員



加齢性難聴者に

補聴器購入助成を

問 補聴器の助成の現状はどうか。
答 身体障害者手帳所持の対象者には補助制度がある。
問 世界保健機構は中度難聴の方に補聴器の装着を推奨している。厚生労働省の介護マニュアルでは聴力の低下が閉じこもり、認知症の発生につながるという。助成は他市でも広がっている。
答 国の研究対象になっている。
問 兵庫県が高齢者への自動ブレーキ等の助成制度があるが年齢は75歳以上となっている。市としては65歳以上に範囲を広げてはどうか。
答 どういうことができるのか考えていく必要がある。
問 ドライブレコーダーへの補助はどうか。
答 研究はしてみた。
問 母子、ひとり親への医療費助成の拡大を
答 兵庫県に準じての助成だが、所得制限等で緩和しているのが県内で23市町ある。適切なのか見直

しの中で検討している。
問 経済的困難な家庭への支援策の拡充を
答 就学援助制度で児童、生徒の家庭に学用品費等が支給対象だが、国の補助の対象のクラブ活動費、卒業アルバム代等を支給していない。改善すべきではないか。
問 限られた財源の中、方向性を議論したい。
答 資源ごみの収益金の還元を
答 年間1200万円程度収益がある。還元については、市民に協力いただけるよう十分考えていきたい。

誠道クラブ

谷口 博文 議員



学ぶ楽しさや日本一

問 学ぶ楽しさや日本一という素晴らしいフレーズで大きな期待をするが、具体的にどのように実践するのか。
答 具体的に何ができるのという部分はなかなか見えない部分があると思う。今考えていることは、自分にはいいところがあるとか学校が楽しいというような自己肯定感を子供達に持たせる。昨今、日本人の読解力が落ちている話もあり読解力を子供達に育てていくという大きな二つの要因かなと思う。
問 ふるさと納税の項目にある学ぶ楽しさ日本一の財源の使



▲協力して学ぶ楽しさ(松帆小学校)

学校のいじめ、不登校の件数は。
答 いじめは小学校で103件。中学校で49件。合計152件です。不登校は小学校6人。中学校27人。合計33人という状況です。

その他、高齢者等元気活躍推進事業、慶野松原の整備について質問した。

市民連合クラブ

土井 巧 議員



教育の充実、

学校のスリム化の実現を

問 学ぶ楽しさや日本一の実現施策は。
答 「わかる・できる楽しさ」「考え工夫し創造する楽しさ」「仲間と協働してやり遂げる楽しさ」などの学ぶ楽しさを体感させる。自己肯定感を高め、人とかかわる力や学びに向かう力、読解力等を向上させていく。
問 一番の教育環境は先生の存在である。学校現場は忙しすぎるので学校のスリム化が必要である。
答 非常に重要な課題である。教育委員会が知恵を絞っている。本市では総合型の校務支援ソフトを

導入している。勤務の適正化を図るのに非常に大きな力になる。
問 障害のある方に対する福祉の充実
答 ウインズは働くことを通じて社会とつながり、自分らしく生きることを支援する通所施設である。就労継続支援B型、就労移行支援、生活介護事業を実施。さらには地域生活を支援する通所施設であり、地域生活支援センター事業・相



▲ウインズ・きらら

創世クラブ

木場

徹議員



子供・子育て支援策

問 国の幼保教育無償化で、今まで無料の幼稚園が有償になったがどのくらいの園児がいるのか。

答 19名の園児が有償になった。

問 費用の負担はどのくらいか。

答 一番多い階層の単価で計算した場合、年間で120万円ぐらいいなっている。

問 市長はこの議会で「子育ての喜びが見えるまち」を目指していると言っているが、市民には保護者の負担が増加したことは、まったく理解できないが。

答 今後も続くのであれば、検討の要因はある。

問 新年度には施策の変更をして無料にして欲しいと要望する。

答 一番は排水路を設置だ。江川水路のAゲート付近の改善と砂防ダムの設置を要望していく。

問 新年度には施策の変更をして無料にして欲しいと要望する。

答 一番は排水路を設置だ。江川水路のAゲート付近の改善と砂防ダムの設置を要望していく。

問 志知小学校の通学路安全対策を要求する。

答 小学校から提示された通学路計画に対し、外側線引直し、グリーンベルト設置、転落防止対策について、今年度中に入札予定。

問 志知小学校の大規模改修工事について。

答 文科省の学校施設環境改善交付金を受ければ令和2年度3年度夏休みに実施予定。

問 国庫補助事業以外も工事実施の計画を立てられないか。

答 その方向で努力していきたい。

志知小学校大規模改修 1億2500万円を申請

問 志知小学校の通学路安全対策を要求する。

答 小学校から提示された通学路計画に対し、外側線引直し、グリーンベルト設置、転落防止対策について、今年度中に入札予定。

問 志知小学校の大規模改修工事について。

答 文科省の学校施設環境改善交付金を受ければ令和2年度3年度夏休みに実施予定。

問 国庫補助事業以外も工事実施の計画を立てられないか。

答 その方向で努力していきたい。

辰美中学校跡地利用

問 民間の事業者プロポーザルを計3回、選定には至らなかった。廃校後6年経過、雨漏り数カ所、床材剥離箇所、浄化槽等、活用に多額の費用が発生する。

答 校舎の老朽化、広い土地、森に囲まれた自然。都市部からアクセスは不便、こういう状況をメリットとできる事業が望ましい。

ICTを活用し有害鳥獣被害対策を模索

問 農水省のICT等を活用した200万円定額補助事業で実証的に機器を導入

答 2025年までには計画がほぼ動き出している予定。

慶野松原未来ビジョンはいつまでに

答 2025年までには計画がほぼ動き出している予定。



ゆづるはクラブ

太田 康文議員



できる。例えば、ドローンで鳥獣の住み家を把握、集中駆除等。

問 人海戦術駆除にも限界がある、ICTの活用実装化に向けて努めてほしい。

答 一言申し上げます。頑張ります。

慶野松原未来ビジョンはいつまでに

答 2025年までには計画がほぼ動き出している予定。

ICTを活用し有害鳥獣被害対策を模索

問 農水省のICT等を活用した200万円定額補助事業で実証的に機器を導入



市民連合クラブ

北村 利夫議員



自然災害への備えは

問 河川の整備状況は。

答 まだまだ道半ば。見直しなり工事の進捗を早める対応を。

問 整備計画を進めていくことはもちろんだが、より一層安全・安心な整備率見直しを県にお願いしたいと思う。

問 改めてハザードマップの重要性和避難行動を再認識したが、ハザードマップの認知度は。

答 調査結果がなく、わからないが、住んでいる地域によって認知度に差があると考えている。

問 洪水ハザードマップが想定している氾

問 水路からの氾濫や想定を超える大雨、高潮等による浸水は考慮されていないのは何故か。

答 水路等の想定対象は水防法の水位周知河川のみで、県条例で2級河川までとなっている。大雨については、

問 水路からの氾濫や想定を超える大雨、高潮等による浸水は考慮されていないのは何故か。



▲平成16年 台風23号により浸水した道路

問 50年60年に一度と言う降雨量を設定している、高潮については洪水想定自体が水防法で河川の氾濫を前提としているため。

問 各地で大規模な災害が起きている、2年続けて100年に一度規模の大雨が降っているハザードマップの見直しは、

答 全面改訂し市民に周知したい。

市民連合クラブ

印部 久信議員



有害鳥獣対策

問 鳥獣対策は、農作物の被害防除が大前提であるが今日出没範囲が拡大し交通事故の原因通行人に

答 生徒が転倒する事故があったが対策は、教育委員会でも子供の大きな事故が

問 沼島地域でイノシシが出没。対策は。

答 沼島地区はイノシシがゼロというのが適切な環境である。現在捕獲檻6基を設置しており集中的に駆除を検討している。

問 賀集地域からの南淡中学校への通学路の鹿の子地区で自

転車とイノシシが衝突。

問 生徒が転倒する事故があったが対策は、

答 教育委員会でも子供の大きな事故があったということ

問 沼島地域でイノシシが出没。対策は。

答 沼島地区はイノシシがゼロというのが適切な環境である。現在捕獲檻6基を設置しており集中的に駆除を検討している。

問 賀集地域からの南淡中学校への通学路の鹿の子地区で自

転車とイノシシが衝突。



▲捕獲されたイノシシ

ゆづるはクラブ

北条志津子 議員



公共施設の整備

問 入居中の公営住宅の老朽化対策は。

答 修繕、耐震化できるところはしていく。木造住宅で築40年を超えている住宅は、耐震化工事ができない。退去後は取り壊していく方針としている。

問 各施設にバリアフリー、手すりなどの安全対策を。

答 管理計画をもとに必要と判断した施設は、適切に対応していく。

問 廃校校舎を農業体験、実習生の宿泊先に利用し、駐車場の営業時間外を車、バイク等の停車場等利用はできないか。

答 施設の有効活用

という考え方はある。多角的に検討したい。

問 ハザードマップを活用した訓練などの取り入れは。

答 ハザードマップは重要。自治会でハザードマップを取り入れ実施している。

問 防災訓練の事前告知メールを携帯へ配信できないか。

答 多くの方の参加にその方向で実施したい。

安全・安心な暮らしを守る

問 自治会加入率の低さの現状、どのような手助けができるのか。

答 自治会加入率の低さの現状、どのような手助けができるのか。



▲南あわじ市防災ハンドブック

答 今、明確にはないが検討したい。

問 火災警報器の設置等の注意喚起は。

答 広域消防に協力し火災予防の新聞広告、パンフレット配布等をしている。普及啓発を働きかけ広報活動に取り組む。

問 鳥獣被害が異常に増加。鳥獣対策課の設置、係を明確化できないか。

答 今の体制よりは強化したい。全庁横断での組織について検討していく。

創世クラブ

久米 啓右 議員



鳥獣被害は深刻に感じている

問 「地域と市長との対話」で、鳥獣被害対策が多く要望されたとその状況は。

答 15地域のうち8地域から要望があった。水仙や農作物の被害、住宅地や通学路への出没での人的被害等々に対する対策への要望。

問 市長の感想は。

答 現場の声を聴いて改めて深刻さを感じた。

問 鳥獣被害で市民は本当に困っている。スピード感と機動力を持った攻めのチームを作っていたらきたい。

問 市民交流センターは誰でも来れる公共空間にする

問 交流センターに「キッズスペース」設置の趣旨は？

答 地域の公共空間に、気軽に親子で行けるスペースづくり。

問 高齢者の集いの場として「エイジドスペース」もつくるべきではないか。

答 高齢者には他の活躍の場もあるが、公共空間は誰もが来れる場になったらいいと思う。

人・農地プランの実質化

問 農地中間管理機構を利用して農地を



流動化させる方策はあるか？

答 地域全体の農地の有効利用を図るために、「いきいき農地バンク方式」がある。自分の農地を機構に貸し付け、自分が借りるという方法である。

問 人・農地プランの未策定地域への策定展開は？

答 成功事例の横断展開を図り、問い合わせにはモデル地域の取り組み等を説明し策定を進める。

ゆづるはクラブ

登里 伸一 議員



人口減少・教育の振興

問 持続可能な開発目標(SDGs)推進を、どう捉え対応しているのか。

答 人口減少、高齢化をどう支えていくかが一番の課題。また農業・漁業等の一次産業のために、自然との共存が重要と考えやっています。

問 人口減少問題に対する対応、施策は。

答 平成27年まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定、人口ビジョンは42年後、3万人を下回らないまちに。

施策では超高齢社会の克服で、高齢者等元気活躍推進事業を。子育てしやすいまちで、学ぶ楽しさ

日本一に向けた取り組みを。国に先駆け幼児教育・保育の無償化等を実施している。これからは、女性が住みやすいまちづくり。

問 幼児期と小学校の教育に一貫性をもたせる方向にある、対応をきく。

答 改訂で保育所も幼児教育施設となり、幼保園・認定こども園では、入学までに育てたい10の姿を、さらに学ぶ楽しさ日本一の読解力向上に合わせ、遊びから学ぶをコンセプトに、それを養う取り組みを検討している。

問 次期教育振興基本計画の基本理念と、

特徴的な教育は。答 テーマは学ぶ楽しさ日本一。世界に誇る伝統芸能、淡路人形浄瑠璃を題材に、小中学校9年間のカリキュラムを作成。アフタースクール事業の充実。松帆銅鐸の活用等である。



創世クラブ

久米 啓右 議員



ボランティア精神の育成

問 淡路島3海峡クリーンアップ大作戦の結果は。

答 2会場の燃えるごみが合計で990kg、参加者数は伊弉海岸で約270名、市職員は25名。

問 市職員の参加が大変少ない。ボランティア活動にどのような意識を持っているのか、評価はしないのか。職員がボランティアに参加することで地域とも親しくなるし自活性やリーダーシップを育てられる。高齢者等元気活躍推進事業に取り組んでいるが、ボランティア活動を広めるための考えは。

問 人事評価は職員の勤務成績の評価で反映はしない。

答 ボランティア休暇制度もあるので市職員を中心に積極的な参加を促していく。

近畿高校駅伝について

問 選手及び指導者、家族や見学者など何

人が訪れたのか、予想される経済効果は。

答 男子が40チーム、女子39チーム、選手、監督で1600名が市内に宿泊した。大会関係者は約220名で約2400名が応援にきた。ボランティア約950名がスタッフとしてかわり総合計で5140名程度。

経済効果は、物産展の商品が完売するなど非常に大きい。

問 駅伝のコースである市道県道、特に入田おのころ線、幡多山線の舗装の傷みぐあいがないか。来年の開催に向けて補修は出来ないか。

答 舗装修繕は財源の確保の関係があるが検討する。

創世クラブ

廣内 孝次 議員



ボランティア精神の育成

問 淡路島3海峡クリーンアップ大作戦の結果は。

答 2会場の燃えるごみが合計で990kg、参加者数は伊弉海岸で約270名、市職員は25名。

問 市職員の参加が大変少ない。ボランティア活動にどのような意識を持っているのか、評価はしないのか。職員がボランティアに参加することで地域とも親しくなるし自活性やリーダーシップを育てられる。高齢者等元気活躍推進事業に取り組んでいるが、ボランティア活動を広めるための考えは。

問 人事評価は職員の勤務成績の評価で反映はしない。

答 ボランティア休暇制度もあるので市職員を中心に積極的な参加を促していく。

近畿高校駅伝について

問 選手及び指導者、家族や見学者など何

人が訪れたのか、予想される経済効果は。

答 男子が40チーム、女子39チーム、選手、監督で1600名が市内に宿泊した。大会関係者は約220名で約2400名が応援にきた。ボランティア約950名がスタッフとしてかわり総合計で5140名程度。

経済効果は、物産展の商品が完売するなど非常に大きい。



▲三海峡クリーンアップ大作戦 鳴門海峡伊弉海岸

11月臨時会で議会運営委員会、議会広報広聴常任委員会の平成30年11月から1年間の活動報告が行われました。その結果を報告します。

議会業務継続計画(BCP)を策定 議会運営委員会の1年間の調査報告

(1)議会運営

- ①毎月定期的に議会運営に向けた協議を行った。
- ②議会活動のあり方等についての管外調査（福岡県大牟田市議会等）を行った。
- ③会議におけるタブレット使用の有効性を確認し、規定を制定した。

(2)議会の会議規則、委員会に関する条例等

- ①議会傍聴規則を改正し、議事進行の妨げにならない範囲で傍聴席で通信機器の操作をできるようにした。

(3)議長の諮問に関する事項

- ①ペーパーレス会議の運用状況等についての管外調査（洲本市議会）等を行った。
- ②議会業務継続計画（BCP）を策定（3月6日）し、課題を改善するため一部改正した。（9月24日）
- ③議会防災訓練を2回実施した。（7月16日、11月17日）



▲管外調査
「政策討論会の設置・運用等について」

「議会を身近にする」ために 議会広報広聴常任委員会の1年間の調査報告

(1)広報活動

- ①議会広報誌の発行
「議会だより」を年4回発行し、次の点を改善した。
・誰もが読みやすいデザインとなるよう、特集ページを工夫。
・表紙には、写真やゲームのキャラクターを掲載し工夫。
・一般質問、各議員の質問項目を一覧表にまとめた。
・表紙のタイトルを明るく親しみのある文字表記にした。



▲議会だより

- ②定例会の傍聴アナウンス
防災行政無線を活用し傍聴の呼びかけを行った。
- ③YouTubeでの一般質問の動画配信
年間で延べ1,126回の再生回数を記録した。

(2)広聴活動

- ①淡路三原高等学校の生徒との意見交換会
議員・生徒あわせて24名参加。
- ②第5回子ども議会の開催
市内の各小学校の代表16人が参加。
「まちづくりについてクラスで話し合おう」をテーマに行った。
- ③第10回議会報告会を2会場（榎列公民館、広田地区公民館）で実施。



▲子ども議会



▲高校生との意見交換

松帆流域江尻排水ポンプ場機械・電気・土木工事請負変更契約の締結

■議案内容
消費税率改正に伴い、変更契約の締結。

福良地区公民館耐震補強・大規模改修工事請負変更契約の締結

■議案内容
消費税率改正に伴い、変更契約の締結。



▲福良地区公民館

議決結果一覧（全議員賛成）

提出者	議案名	議決結果
市長	印鑑条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
市長	福良地区公民館耐震補強・大規模改修工事請負変更契約の締結	原案可決
市長	松帆流域江尻排水ポンプ場機械・電気・土木工事請負変更契約の締結	原案可決

一部事務組合などの議会報告

令和元年11月～12月

南あわじ市・洲本市 中学校組合

▼第3回定例会（11月20日）
平成30年度南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計歳入歳出決算を認定。
令和元年南あわじ市・洲本市小中学校組合一般会計補正予算（第1号）を可決。

淡路広域行政事務組合

▼第4回臨時会（12月20日）
職員との給与に関する条例の一部を改正する条例制定、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定等を可決。また、兵庫県共済組合設立に伴う関係条例の整備に関する条例制定を可決。

淡路広域消防事務組合

▼第4回臨時会（12月20日）
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定、地方公務員法及

び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定等を可決。議長に熊田司議員を選出、監査に久米啓右議員を承認。

淡路広域水道企業団

▼第4回臨時会（12月20日）
職員の分限並びに分限に関する手続き及び効果に関する条例及び職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定、職員との給与及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定を可決。副議長に小島一議員を選出。

洲本市・南あわじ市 衛生事務組合

▼第3回定例会（12月26日）
会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定、職員の給与に関する条例の一部を改正する条例等を可決。平成30年度一般会計決算を認定。監査委員に中村三千雄議員を同意。片岡格議員が一般質問を行った。



第8回

成人式で 新成人にインタビュー

1. 将来の夢は

- ・車の整備士になりたい。
- ・社会福祉士になりたい。
- ・教員になりたい。
- ・バレーボール選手になりたい。

2. 市に望むことは

- ・アウトレット、大きなショッピングモール等がほしい。
- ・地元に戻ってきたい。
- ・子育て支援の情報をもっと発信してほしい。
- ・あたたかい田舎なので、このまま変わらずいてほしい。
- ・景色を楽しめたり、インスタ映えする場所がほしい。



水仙郷で 観光客にインタビュー

番外編

1. 南あわじ市の魅力は

- ・景色がきれい。また、うずしお観光をしたい。
- ・車が少ないので、ゆっくり走れる。

2. 観光発展には何が必要か

- ・若い人、大人用のパンフレットがあれば良い。
- ・PRの仕方に工夫したほうが良い。



広報紙コンクールで 奨励賞受賞

第32回近畿市町村広報紙コンクールで、奨励賞を受賞しました。

子ども議会で提案された コラボ商品誕生

榎列小学校小林芽生議員より、おのころ島神社のPRに玉ねぎやイングランドの丘とのコラボ商品をとの提案があり、このたび南淡路農業公園(株)の協力でキーホルダーのサンプルが完成しました。



議会事務局職員を紹介



局長 垣 光弘
 課長 加野 泰生
 係長 田坂千佐美
 係長 佐々木友美
 主任 佐藤 秀明
 主査 谷口 太輔

編集後記

新しい年を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。2020年は、東京でオリンピックが開催されます。「子年」の再び十二支のサイクルがスタートする年です。夢と希望があるから計画ができ、計画は実行・実現につながります。第64号では、役員改選により誕生した新しい正副議長と各常任委員会構成を紹介していきます。また、昨年開催した「第10回議会報告会」等も掲載しております。議会だよりを通して元気な街、笑顔あふれる街づくりの実現に新メンバーが一丸となって、わかりやすく、読んでみようと考える広報誌づくりに努めてまいります。皆様のご意見等をお聞かせいただきたいと思います。(北条)

議会広報広聴常任委員会

北条志津子 小島 一
 登里 伸一 久米 啓右
 吉田 良子 太田 康文